

会 議 録

会 議 名	平成30年度第1回小金井市市民協働推進委員会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	平成30年4月23日（月） 18時35分～19時35分		
開 催 場 所	第五会議室		
出 席 委 員	田中敬文 委員長 土屋文雄 委員 森田眞希 委員 邦永洋子 委員 西田 剛 委員		
欠 席 委 員	熊谷紀良 副委員長		
事 務 局 員	1 小金井市 コミュニティ文化課長 鈴木遵矢 コミュニティ文化課文化推進係長 永井 桂 コミュニティ文化課文化推進係主任 岡本和晃 2 小金井市市民協働支援センター準備室 嶋田直人 市民協働推進員 本家豊大 市民協働推進員		
傍 聴 の 可 否	一部不可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由	一部不可 (協働事業提案制度の 選考に関する内容であ るため)	傍聴者数	1人
会 議 次 第	(1) 依頼状の交付 (2) 自己紹介 (3) 委員長、副委員長の互選 (4) 会議運営について (5) 会議録について (6) 協働事業提案制度について (7) (仮称) 小金井市市民協働支援センター開設に係る意見聴取 について (8) 平成30年度の予定について (9) その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		
会 議 要 旨	別紙のとおり		
提 出 資 料	(1) 本委員会の委員名簿 (2) 小金井市協働事業提案制度について (3) 市民協働推進委員会評点結果(1次審査) (4) 平成30年度実施協働事業提案制度審査書類一式		

	(5) (仮称) 小金井市市民協働支援センター開設に係る意見聴取 について
--	--

**【事務局】** 大変お待たせいたしました。ただいまから平成30年度第1回小金井市市民協働推進委員会を開会いたします。

本日はお忙しい中、市民協働推進委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。今回の会議は委員改選後、第1回目の委員会となりますので、委員長が選出されるまでの間、コミュニティ文化課長の鈴木が会議を進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

初めに、市長の西岡からご挨拶をさせていただきます。

**【西岡市長】** 皆さん、こんばんは。市長の西岡でございます。

今日は平成30年度第1回の市民協働推進委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。まず、ご出席いただきました皆様方におかれましては、小金井市市民協働推進委員会の委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。大変心強く思っております。感謝申し上げます。

小金井市の最上位計画である基本構想の基本姿勢にもございます「協働」の推進に当たりまして、皆様のお力、ご意見をいただきながら推進してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、平成28年度からスタートいたしました市民協働提案制度につきましては、1年目は成年後見制度、2年目は、お配りされておりますが、『稲の学習ハンドブック』ということで、小金井の子供たちとこがねい環境ネットワークの皆様方が大変意義のある取り組みをしています。そして、今、3年目に向けた準備をしている状況でございます。この市民協働提案制度につきましても、これまで市民協働に関わる方々からご提案によりまして推進しているものでございまして、これからも精一杯取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。ありがとうございます。

**【事務局】** それでは、市長から依頼状の交付をさせていただきます。

**【西岡市長】** 依頼状。田中敬文殿。小金井市における市民協働のさらなる推進を図るため、小金井市市民協働推進委員としてご協力いただきますようお願いいたします。

任期、平成30年4月23日から平成32年4月22日まで。

平成30年4月23日。小金井市長 西岡真一郎。

よろしくお願いいたします。

依頼状。邦永洋子殿。小金井市における市民協働のさらなる推進を図るため、小金井市市民協働推進委員としてご協力いただきますようお願いいたします。

以下、同文でございます。小金井市長 西岡真一郎。

よろしくお願いいたします。

依頼状。土屋文雄殿。小金井市における市民協働のさらなる推進を図るため、小金井市市民協働推進委員としてご協力いただきますようお願いいたします。

以下、同文でございます。小金井市長 西岡真一郎。

よろしくお願いいたします。

依頼状。森田眞希殿。小金井市における市民協働のさらなる推進を図るため、小金井市市民協働推進委員としてご協力いただきますようお願いいたします。

以下、同文でございます。小金井市長 西岡真一郎。

どうぞよろしくお願いいたします。

**【事務局】** 座ったまま失礼いたします。ここで市長公務のため退席させていただきます。

ますので、よろしくお願いいたします。

**【西岡市長】** 皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

**【事務局】** それでは、お手元の資料を確認させていただきます。

まず、「本日の次第」です。それから、次に資料1、「本委員会の委員名簿」。資料2、「小金井市協働事業提案制度について」。資料3、「市民協働推進委員会評点結果（1次審査）」。資料4、緑色のファイルに挟んであります「平成30年度実施協働事業提案制度審査書類一式」です。それから資料5、「(仮称)小金井市市民協働支援センター開設に係る意見聴取について」です。

そのほか、会議資料ではございませんが、一緒にとじ込んでございます「次回の開催通知」と、平成29年度に協働事業提案制度で採択された『稲の学習ハンドブック』の成果物を参考に配付させていただいております。

以上、次第と資料につきまして、不足等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

**【事務局】** 資料4の緑のファイルは委員お一人1部のみです。傍聴のほうには置いてございません。

それでは、次第の2番に移らせていただきます。各委員から簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。

森田委員からよろしいですか。

**【森田委員】** はい。森田眞希と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**【土屋委員】** 土屋文雄と申します。先ほど市長から委員として依頼されましたが、今回が初めてですので、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は、埼玉県出身ですが、小金井市に引っ越して35年になります。この間に小金井市の環境も大きく変わってきました。また、私自身、国の仕事を長い間やってきましたが、5年前に退職して、今は一般財団法人に勤務しております。そろそろ完全退職の時期になることもあり、これまでは地域の仕事に携わったことがなかったものですから、地域行政に少しでもお役に立てればという気持ちで応募させていただきました。皆さんには、しばらくご迷惑をおかけするかも知れませんが、精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

**【邦永委員】** 順番ではないですが、邦永洋子と申します。特定非営利活動法人こがねい子ども遊パークというところで代表理事をしております。私は、NPO法人連絡会というところから推薦を受けて、こちらのほうで2年になります。どうぞよろしくお願いいたします。

**【田中委員】** 初めまして、田中敬文と申します。勤務先は東京学芸大学教育学部です。専門は公共政策・公共経済学で、その立場から非営利組織論ですとか、家族、教育等の問題について関心を持たせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

**【西田委員】** 初めまして、小金井市市民部長を4月からやっております西田と申します。よろしくお願いいたします。前職は教育委員会で生涯学習部長を6年ほどやっておりました。その際にも市民協働につきましては、例えば貫井北町の地域センターの図書館・公民館、そして東センターの図書館・公民館、こういったところを、今、NPO法人の市民の図書館・公民館こがねいというところでいただいておりますが、一番最初から私が携わってやっております。どうぞ皆さん、よろしくお願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。

続いて、事務局の紹介をさせていただきます。コミュニティ文化課文化推進係長の永井桂です。

【事務局】 永井と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局】 コミュニティ文化課文化推進係主任の岡本和晃です。

【事務局】 岡本と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局】 改めまして、私、コミュニティ文化課長の鈴木と申します。引き続きよろしくお願いいたします。

また、本委員会には小金井市市民協働支援センター準備室にも参加いただいておりますので、自己紹介をお願いします。

【事務局】 小金井市市民協働支援センター準備室の嶋田と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局】 同じく準備室の本家と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局】 よろしくお願いします。

それでは、次第の3番に進みまして、委員長、副委員長の互選を行います。

初めに、委員長の互選を行います。委員長に立候補される方、また併せて、どなたかご推薦される方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いいたします。

【西田委員】 すみません、私、僭越ながら推薦をさせていただきたいと思います。田中先生を委員長に推薦したいと思います。

【事務局】 ただいま西田委員から田中委員の推薦がございました。

お諮りしたいと思います。委員長に田中委員を選出することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【事務局】 それでは、田中委員を委員長とすることに決定いたしました。

田中委員長からご挨拶をお願いいたします。

【田中委員長】 謹んで委員長を受託させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 では、先生、席のご移動をお願いいたします。

(委員長席へ移動)

【事務局】 ありがとうございます。

それでは、これからの議事の進行は、ただいま選任された田中委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【田中委員長】 それでは、進めさせていただきます。

次に、副委員長の互選を行います。副委員の役割は、「委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、副委員長がその職務を代理する」ということとなります。

副委員長に立候補される方、またあわせて、どなたかご推薦される方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いいたします。

【森田委員】 推薦させていただきます。東京ボランティア・市民活動センターの熊谷委員を推薦させていただきます。本日は、熊谷委員、欠席でいらっしゃいますが、ご本人から内諾を得ていることを申し添えます。

【田中委員長】 熊谷委員、今ご推薦の声が上がりました。本日、ご欠席ということですが、ご本人の内諾を得ているということです。

お諮りさせていただきます。副委員長に熊谷委員を選出することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【田中委員長】 それでは、熊谷委員を副委員長とすることに決定いたします。熊谷委員につきましては、次の委員会でご挨拶をいただきたいと思います。ありがとうございます。

続きまして、次第の4番、会議運営についてです。事務局からご説明をお願いいたします。

【事務局】 それでは、今後の会議の運営について、2点ほどございます。

まず1点目、今後の会議の主な内容についてですが、本委員会の所掌事項は、次の3点について協議いただくこととなっております。

1つ、協働施策の推進に関すること。2つ目、協働事業提案制度に関すること。3つ目、その他協働に関すること。その中でも現時点では、「協働事業提案制度」について、主に審査にご協力をいただいております。本制度につきましては、後ほど次第6でご説明させていただきます。

また、今後は他の協働に関する事項につきましても、ご協議いただくことを想定しておりますので、よろしくをお願いいたします。

次に、会議の傍聴についてです。本委員会は、原則傍聴を可能とする公開の会議としておりますが、先ほど触れました、協働事業提案制度の選考にかかわる会議を開催する場合には非公開とさせていただきたく、この件について、あらかじめ委員会でお諮りいただきたいと思います。

【田中委員長】 事務局からの説明はよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【田中委員長】 これまでの説明について、何かご質問等ございますでしょうか。

もしなければ、お諮りさせていただきたいと思います。ただいまご説明いただきました、協働事業提案制度の選考にかかわる会議について、非公開の取り扱いとすることにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【田中委員長】 それでは、選考にかかわる会議について、非公開の取り扱いとすることに決定いたしました。

続きまして、5番、会議録についてです。これも事務局からご説明をお願いいたします。

【事務局】 会議録について、2点ほどございます。

1点目として、会議録の基本方針です。本委員会の会議録は、発言者名と発言内容全文を記載したものを作成させていただき、ホームページ等で公開させていただきたいと考えています。この件につきまして、委員会でお諮りいただきたいと思います。

次に、作成の流れでございますが、公開前に委員の皆様へ校正をお願いいたしまして、その後、公開・非公開とする箇所も含め、委員長と事務局で協議の上、会議録を確定させていただきたくと思います。この件につきまして、あらかじめ委員会でお諮りいただきたいと思います。以上です。

【田中委員長】 どうもありがとうございました。事務局からの説明は終わりました。

これまでの説明につきまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

それでは、2つ諮る必要があります。順番にお諮りいたします。

まず、会議録につきましてです。発言者名と発言内容全文を記載し、公開する。このことにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【田中委員長】 異議がないようですので、そのとおり決定いたしました。

続きまして、会議録作成の流れにつきましてです。各委員の皆様、校正の後、委員長である私と事務局に会議録の確定についてご一任いただき、このことにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【田中委員長】 異議がないようですので、そのとおり決定いたしました。どうもありがとうございます。ここまで順調です。

続きまして、6番、協働事業提案制度についてです。次の6番の協働事業提案制度については、これは非公開ですか。

【事務局】 非公開です。

【田中委員長】 この6番の事業提案制度についてでございますが、会議を非公開とすることになっておりますので、休憩を入れさせていただきたいと思っております。ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

《これより会議を一部非公開》

【田中委員長】 それでは、次に行かせていただきます。7番、(仮称)小金井市市民協働支援センター開設に係る意見聴取について。ここは傍聴の方がお見えいただいてもいいということですが。

【事務局】 今は傍聴者はいらっしゃいません。

【田中委員長】 それでは、(仮称)小金井市市民協働支援センター開設に係る意見聴取についてです。事務局からご説明をお願いします。

【事務局】 (仮称)小金井市市民協働センター開設に係る意見聴取について、ご説明させていただきます。

資料5をごらんください。平成24年に小金井市市民協働のあり方等検討委員会から「小金井市における市民協働及び(仮称)小金井市市民協働支援センターのあり方等について」の答申をいただきました。

市民協働支援センターについては、平成25年3月に策定した新庁舎建設基本計画においては、新庁舎に「協働支援センター」の機能を含むこととしていましたが、その後、福祉会館の閉館に伴い、新福祉会館建設基本計画案において、新庁舎の建設時期が未定であったため、市民協働支援センターを新福祉会館に含めることとしていました。その後、平成28年10月にこれらの考え方がゼロベースでの見直しとなった経過がございます。

そうした中、平成29年7月に(仮称)小金井市新福祉会館建設基本計画市民検討委員会が設置され、新施設に求められる基本理念、建設場所、建設規模、機能等について検討を行い、同委員会として基本計画(案)がまとめられ、平成30年1月に市長に提出されました。その後の検討を経て、「(仮称)小金井市新福祉会館建設基本計画」が平

成30年3月に策定されました。この基本計画には、新福祉社会館内への市民協働支援センターの設置が位置づけられており、今後、平成33年度の新福祉社会館の竣工に向けて基本設計等、種々の準備を進めていくこととなります。

今般、急なお願いではございますが、平成30年度に新福祉社会館の基本設計を行うに際し、市民協働支援センターに対する市民の皆様のご意見等をお聞かせいただきたく、本意見聴取へのご協力をお願いいたします。あわせてソフト機能についてもご意見をいただきたく、御協力をお願いいたします。

(仮称)市民協働支援センター・ボランティア市民活動センター配置(案)をごらんください。1枚めくっていただきたいと思います。A4横の資料です。この資料はあくまでイメージとしてごらんいただきたいと思いますが、新福祉社会館の4階に施設配置が予定されており、同様に新庁舎の4階にはコミュニティ文化課が配置される予定となっております。新福祉社会館基本計画の概要は、参考に今回お配りしておりますA3横の資料、三つ折りにしてございますが、これをごらんいただきたいと思いますが、今お話ししたのは、A4の右側のところに施設のそれぞれの階の空間イメージが記載されてございますが、新福祉社会館の4階に、字が小さくて見にくいですが、市民協働支援センター・ボランティア市民活動センターとあるあたりに配置というイメージを図の中にお示しできるということになってございます。

この資料のイメージをもとに、施設配置やソフト機能について、ご意見をいただきたいと思います。ご意見につきましては、本日お配りしてございます回答票にご記入いただき、5月14日までに事務局へ提出いただければと思います。

説明については以上ですが、すみません、もう少し説明させていただきますと、この図面とか配置の位置につきましては、あくまでイメージということでございますので、設計上ここに入りますということが確定しているわけではございません。例えば、変な話ですけど、今回4階に配置しておりますが、前にいただいた意見の中では低層階が望ましいという意見もございました。新福祉社会館の市民検討委員会の中では、新福祉社会館の機能を検討する中で、福祉系の内容については、障害のある方や高齢者の方もいらっしゃるの、なるべく低層階がいいだろうという判断もあり、そちらの下のほうについては、そういう施設が中心となっているというのが、配置案をごらんになっていただけるとおわかりいただけるかと思いますが、ご意見として、例えば低層階がいいなどのご意見もいただければと思います。

それから、運営の部分につきましては、例えば休館日については、土日は開館し、火曜日が望ましいとか、あるいは土日休館したほうがいいのか、あるいは開館時間は朝から夜までとか、さまざまご意見があろうかと思いますが、自由にご記入をいただければと思います。

ご記入いただいた意見につきましては受けとめさせていただくところではありますが、施設全体の設計の中で意向に沿える内容になるかどうかというのは、現時点では明確にお約束できない部分もございますが、いろいろご意見をいただければと思ってございます。以上です。

**【田中委員長】** ありがとうございます。それでは、(仮称)市民協働支援センター・ボランティア市民活動センター配置(案)について意見を募るということにつきまして、ご質問、ご意見等ございましたら、よろしくお願ひします。

すみません、初めに、このセンター配置の案ですね。それから、A3の仮称概要版と



というのは、これはもうホームページ等で市民に公開されているものですか。

【事務局】 まず、この概要版を含めた新福祉会館建設基本計画については、ホームページ等で公開されています。それから、もう1個のA4横の配置(案)につきましては、まだ公開されていないと思います。

済みません、もう1点補足ですが、今回お配りしたアンケート回答票の下に提出先として、福祉保健部地域福祉課福祉会館等担当とございますが、こちらにではなく、資料5の裏面にあります意見の提出先宛てにご提出いただければと思います。資料5の2ページ目です。4番、意見の提出先、コミュニティ文化課へご提出いただきまして、例えば同様の意見が出てきた場合は、事務局のほうでそれにつきましてまとめさせていただいて、一度、出す意見につきましては、委員の皆さんにご確認をさせていただきたいと思っております。5月14日までにご提出いただいた後、事務局で一定整理をし、委員の皆様にご確認いただいて了承を得てから、福祉会館担当のほうに提出させていただきたいと思っております。

【田中委員長】 この意見提出につきましてご質問、ご意見等、よろしくお願ひします。

土屋委員、どうぞ。

【土屋委員】 このアンケートの意見は、今回の協働推進委員会委員のほかにも意見を求めているのでしょうか。

【事務局】 はい。今回、福祉会館建設担当のほうで福祉会館の中に入る機能、施設の運営者、あるいは利用者の方の意見を聞くということ、今回この流れで行っております。なので、福祉関係のところは福祉関係の団体であったり、さまざまな関係者のほうに意見を聞く動きを今やっているはずですが、こちらにつきましては、市民協働推進委員会の皆さんのご意見と、あと私のほうで考えてございますのは、NPO法人連絡会、それから福祉NPO法人連絡会のほうにはお声がけをしてご意見を伺おうと思っております。

【土屋委員】 あと1点、基本的な質問ですが、回答票に「回答対象機能」の欄がありますが、この欄には何を記入すればいいのでしょうか。

【事務局】 ご意見をいただきたい事項につきましては、資料5の1ページ目にあります配置に関する事と機能に関する事、それから管理運営等に関する事となっておりまして、ご記入欄のほうにそれぞれ項目、いろいろな関係、あるいはその他でも結構です。

【事務局】 それで、この回答対象機能につきましては、こちらのほうでまとめる際に入れさせていただきませんが、仮に入れるとすると、市民協働支援センターという名称がここに入ってくるものと思います。

【土屋委員】 回答者は、そこは記入しなくて良いのですか。

【事務局】 回答者のところは、例えば私どものほうでまとめて、ここには市民協働推進委員会という形でまとめたものを福祉会館建設担当のほうに提出したいと思っておりますので、一番上の2つの枠については無視していただいて結構です。

【土屋委員】 「記入欄」のところだけで良いということですね。

【事務局】 記入欄のところだけ入れていただいて、我々のほうに提出いただければ、まとめてご確認させていただきたいと思っております。

【田中委員長】 ほかにいかがでしょうか。

【邦永委員】 再度の確認みたいになってしまいますが、私はNPO法人連絡会から出ているものですから、NPO法人連絡会にはまた別にお聞きしていただけるということで、私は私の意見でいいということですね。

【事務局】 それは結構です。NPO法人連絡会と福祉NPO法人連絡会さんのほうには同様のご説明をいたしますが、連絡会としてまとめるのはなかなか難しいと思うので、そちらについては、それぞれ個別の団体意見をまとめて、私のほうで特に精査といいますか、同じ意見をまとめてあるからということはず提出したいと考えています。

【田中委員長】 今のNPO連絡会と福祉NPO連絡会にはもうご説明なさっているんですか。

【事務局】 これからです。NPO法人連絡会は5月7日です。その後ぐらいに福祉NPO法人連絡会でもご説明します。

【邦永委員】 福祉NPO法人連絡会のほうは10日です。

【事務局】 そこにお伺いして、ご説明をしようと思います。

【田中委員長】 締め切りはやっぱり5月14日なんですか。

【事務局】 その2団体は少し締め切りを延長しようと思います。

【田中委員長】 委員の皆様、この件につきましても活発なご意見を頂戴できればというふうに思っております。よろしくお願ひします。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【田中委員長】 ありがとうございます。

それでは、次の議題に進ませていただきます。8番、今年度平成30年度の予定につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。

【事務局】 本委員会の開催は、年4回の開催を予定しております。今回は、先ほどご説明いたしましたとおり、5月6日、公開プレゼンテーション、よろしくお願ひします。第3回と第4回につきましては、現時点でスケジュールは未定でございますが、改めて、協議内容が整いましたら、事務局のほうから日程調整のご連絡をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

【田中委員長】 第3回、それから第4回の会議日程につきましては、後ほど事務局から別途調整の連絡があるということですので、よろしくお願ひいたします。

大ざっぱでいいですが、大体いつ頃になりますでしょうか。

【事務局】 昨年度は、第3回目は8月中に行われていまして、第4回の最後が2月の終わりです。

【事務局】 夏の終わりから秋にかけての時期と、それから年度末に近い2月、3月ぐらいになるのかなというふうに思っております。

【事務局】 おそらく第3回を8月にやったのは、来年度の提案事業制度を例年どおり10月ぐらいに募集をかけるので、その前に皆さんとお話し合いたいということではないかなと思います。2月の終わりについては、提案事業制度、募集をかけて締め切って、1次審査が大体3月ですので、その前に皆さんにお集まりいただいて、ご意見をいただきたいということだと思っております。

【田中委員長】 ありがとうございます。委員の方々よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【土屋委員】 提案制度のスケジュールですが、昨年は10月から11月に提案を募集して、今回1次審査が終わりましたが、毎年このようなスケジュールで行われるという

ことでしょうか。

【事務局】 大体そのような流れになっております。

【土屋委員】 今回の私のように新しく委員になった場合は、1次審査に参加していないので、一次審査の内容や経緯が分からないまま進められていくということで、制度上仕方がないと言えば仕方ないですが、委員が交代する度にそういうことになるわけですね。

【事務局】 結局、予算が役所の場合、ご存じのとおり、年度予算で単年度会計となっておりますことから、動き出すのが4月以降になってしまいます。募集とか、応募に際して、市役所の庁内の各担当と団体の協議とか調整を行うのに一定時間がかかることから、やっぱり1次審査の時期が現状の時期になってしまうというのがあるのかなど。ただ、そこは今回の29年度、30年度の切り替えの時期にちょっと課題としてあるなというのは我々も認識しておりますので、この委員会の中で、何か解決策がないかというのは、どこかの段階でご協議いただければと思っています。

【土屋委員】 このスケジュールでいいますと、最終的に一つの団体に決定して協働事業を実施できるのが7月頃からということですね。

【事務局】 そうなります。

【土屋委員】 そうすると、補助金で協働事業を実施できるのは、7月から1年間ではないのですか。

【事務局】 そうではなくて、年度末3月31日までです。

【土屋委員】 わかりました。1年間ではなく実質9月間ということですね。

【田中委員長】 よろしいでしょうか。

【土屋委員】 はい。ありがとうございました。

【田中委員長】 ほかにはいかがでしょう。

もしないようでしたら、9のその他に参ります。皆様、何かその他ございますでしょうか。事務局のほうから何かございますか。

【事務局】 特にございません。

【田中委員長】 センターのほうはよろしいですか。

【事務局】 ございません。

【田中委員長】 もし何もないようでしたら、本日の会議はこれで終了させていただきたいと思います。皆様、お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございました。

— 了 —